

◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座) 毎月28日 13時半～15時
6/28・7/28・8/27: リリーナーの座談形式で開催しています。

(28日が土・日に当たる場合は直前の金曜日に開催)

◎ 死別の分 かつあいの集い: 13時～15時

・夫を亡くした方: 毎月第1土曜日(7/3・8/7・9/4・10/2)

・自死遺族の方: 毎月最終土曜日(6/26・7/31・8/28・9/25)
当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

◎ 寺ヨガ: 毎月第2・4月曜日 10時30分～11時30分

初回1,500円(5回数券6,500円)で、「広島市高齢者いきいき活動ポイント」対象です。お問い合わせは、下記宛にメールください。

≪ terayoga-hiroshima@vvsyogi.com ≫

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年、原爆の日やお盆の時期にお納めいただく方が多く、
玄関が混み合います。お振り込みもどうぞご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、
次のように入力してください。

【名義】 チョウカクジ

【店名】 五ーハ(読み ゴイチハチ)

【店番】 518 (普通預金) 55770660

◇ 報告・連絡・“僧”談

お寺の池に今年もカエルが戻ってきて、8匹まで確認しました。何を食べているのか? 虫も豊富じゃないだろうにと不思議でしたが、見たこともない毛虫を食べているのに遭遇しました。オタマジャクシも20匹ほど知らぬ間に繁殖していました。こっちはメダカのエサを食べていますが、もうメダカより大きくなっています。人の目には映らない世界があるんだなあ... ぜひご確認を!

発行人: 超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*ーー)人i合掌

2021年6月夏 超覚寺報 第47号

【ハ丁堀だより】



浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林薦山
憶西院

超覚寺

RIN-0-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI

[since 仏暦2162, 西暦1619, 元和5]

〒730-0013 広島県広島市中央区ハ丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wadda@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>

<http://mytera.jp/tera/48chokokakuji>

超覚寺 夏の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございました。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますが、
コロナウイルス対策をし、3密に十分に配慮しますので、
ご参詣くださいますようお願い申し上げます。<(_ _)>

◎ 原爆の日の法要

8月6日(金) 8時15分 広島原爆の日 1分間黙祷

原爆死没者追弔会(住職のみ)

8月9日(月) 11時02分 長崎原爆の日 1分間黙祷

新型コロナウイルスが落ち着いておれば、8/6に広島市内の各宗派の
僧侶が平和公園の原爆供養塔(引き取り手のない御遺骨を納めている)
の前で法要を勤めます。

◎ 盂蘭盆会(戦争死没者追弔会)の法要

8月14~16日(土・日・月) 10時~10時30分

ご先祖さまを敬い、わが身の四苦八苦の問題を見つめ直すご縁にしましょう。

※ **お盆・初盆の読経**は、希望日時が重なりやすいので早めにご連絡ください。

※ お盆期間中、**本堂を開放**しております。どうぞ阿彌陀如来にお参りください。

※ 広島県南部の伝統供物【**盆燈籠**】は、以前は禁止していましたが、今は墓石
の周りにお供えできます。超覚寺では墓参れ・墓花・お線香のみ販売しており
ますので、**盆燈籠は他のお店でご購入**、ご持参ください。

※ 境内の駐車場は7台まで、満車の際は近所のパーキングをご利用ください。

※ 8/18以降に業者さんが墓地を清掃し、墓参れ・墓花・盆燈籠を片付けます。

超覚寺オリジナル墓参れ

※ コロナ禍でお参りできない方は、住職が代行してお参りいたします。
オンラインでのお参りもできます。盆燈籠や墓参れも、お墓にお供えいたし
ますので、何なりとご連絡ください。

☆ 「日本の教育はダメじゃない(ちくま新書)」

日本の子どもの自己肯定感の低さは、仏教の影響を受けているからだ
そうです。だから失敗しても、修行のごとく日本の子どもは一層頑張るの
で、自己肯定感の低さを否定的に捉える必要はないそうです。この本は、
台湾大学の日本人准教授と京都大学の英国人准教授の共著で、二人
とも、世界銀行や国連で働く国際派です。

この本の面白さは、多くの日本人が信じる「日本の教育はダメだ」観を
国際比較データで問い直していること。勉強に興味がない、知識がない、
学力格差は大きい、いじめ・不登校の多発等々、一つ一つその偏見をデ
ータを駆使して覆していき、日本の教育のレベルの高さや現場の教師
たちの頑張りを、きちんと評価しています。

とりわけ興味深かったのは、冒頭に挙げた自己肯定感の問題です。そ
もそも、東アジア諸国では一般に欧米の子どもに比べ、自信のある子ど
もの割合は低く、その一方、学力は高い傾向にあります。それは、過剰な
自信に溺れるのではなく、自己に対し批判的な目を向け続け、(自信を
持てないからこそ)一層頑張ることと関連があるのだろうということです。

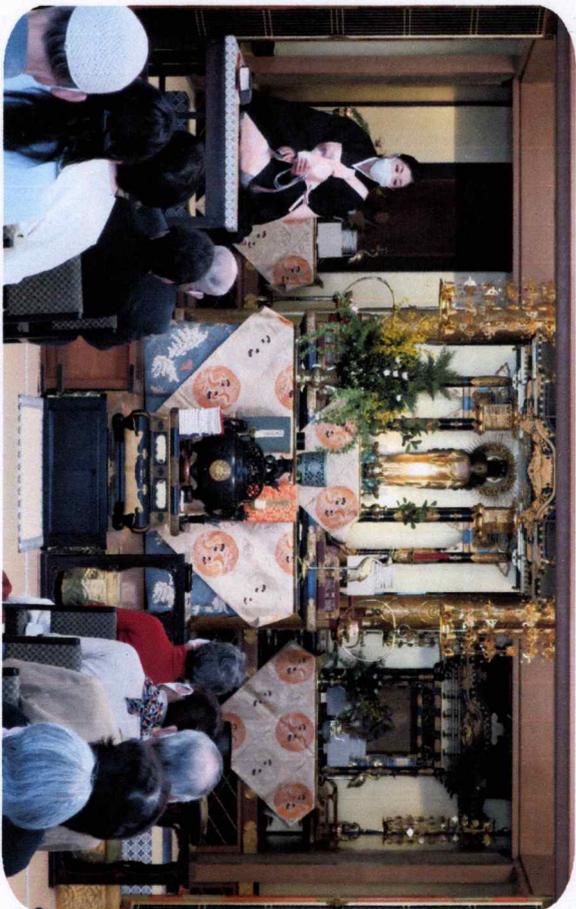
その基底にはキリスト教と仏教の違いがあるそうです。欧米人は、自己
は固定的なものであり、「生来の能力」によって規定されると解釈し、失
敗したらそこまでよ頑張らないのだが、その根底にはキリスト教の「予
定説」が強く影響しているそうです。そこが「人生は修行」と考える日本
人の仏教観と大きく異なり、失敗をも成長の機会と考える自己の捉え方
の違いと指摘します。日本人の教育観や学習観、成長観に仏教が根
底的な影響を与えているのだとしたら、そこは納得できます。

むしろ、「そこがすごいよ日本人」みたいなお調子本とは違います。安
易な現状批判でも肯定でもなく、データで正しく実態を認識した上で、
日本の教育についての議論を始めようと呼びかけています。

それにしても、優秀な人材(日本人の大人の学力は世界一だ)を使え
ない経済界が、不調の理由を教育界に求め、政治がそれに追従するとい
うパターンは、教育現場を混乱させ、ますます教員たちを疲弊させてい
くだけではないかと思えます。

(浄土宗 大阪市應典院住職 秋田光彦師のコラムより加筆転載)

◇ “寺”後報告



① 3/21:春の法要

昨年はコロナ禍で中止したので2年振りの開催でした。祖父江先生もマスクでお説教されるのは大変だったと思います。今年は直前まで雨天で、お供えの牡丹餅が余るかも心配していましたが、42名もお参りくださり満堂になりました。近所の方々もお参りされて、法座に飢えている方は予想以上に多いと感じました。

② 4/8:釈尊降誕会

今年も1日から花御堂(はなみどう)を設置しました。甘茶を入れた器の中に誕生仏(生まれたてのお釈迦さまのお姿)が立っていて、そこに甘茶を掛けます。動作を伴う行が少くない浄土真宗では、誕生仏への甘茶掛けは稀有な儀式作法になります。花御堂は、普通は本堂の入口や中に置かれますが、超覚寺では門の外に設置しているので、通勤通学の方々も楽しそうにお参りくださいました。

今年も御門徒さん手作りの水引細工を横に置いて自由にお持ち帰り頂きました。甘茶の器にお賽銭される方も多く有り難いことでした。



◎ 秋季彼岸会(永代経)法要

9月23日(木・祝) 13時～ 勤行:住職

13時30分～15時30分(茶菓子休憩有)

法話:瓜生崇師(滋賀県東近江市玄照寺)

瓜生先生は、昨年一昨年に続いてお越し頂きます。

◎ 報恩講法要

11月6日(土) 10時～12時(コロナ禍が治まれば午後も有)

法話:小山興圓師(愛知県安城市本證寺)

勤行:住職・市内住職出仕

小山先生は、住職が学んだ「大谷専修学院」という僧侶養成所の同期になります。親鸞聖人のご生涯の絵解きの第3回目です。

◎ 第4回 納涼落語会 10月中?(法要はありません)

毎年マルチタレント中島尚樹さん井上恵津子さん夫妻や広テレスアナウンサーに登壇頂きますが、昨年はコロナ禍のため無観客のネット配信をしました。詳細は次号の「ハ丁堀だより」にてお知らせします。

◇ 法要・法座実施の指針

・感染症対策は、参詣の方々自ら行ってください。もしマスクを忘れたなら配布します。消毒液は本堂やトイレに置いてあります。検温は自宅にてお済ませください。

・御門徒の御法事(御葬式や年回法要などは、全てお勤めします。オンラインでの法要やお墓参りもお受けします。

・超覚寺主催の法座(彼岸会・盆法要・報恩講・勉強会などは、緊急事態宣言が発令されれば中止します。

御仏事が滞りなく行われますよう、ご協力をお願いいたします。

◇【お坊さんのいないお葬式】

「無宗教なのに、お葬式ではなぜお坊さんと呼ぶのだろうか？」

そういう面白い文句で、昨年2月に派手な新聞広告でスタートした「お坊さんのいないお葬式」をご存じでしょうか？ そのホームページには下記のような文章が載っています。

【適正な価格でこだわりあふれる自由な葬儀を提供しています】

「お坊さんのいないお葬式」は、仏式や神式、キリスト教形式など、従来の宗教形式で葬儀を執りおこなうことにこだわっていない方に向けた、新しい葬儀のカたち「想送式」を提供しています。

想送式では、従来の葬儀において一般的な読経などの宗教儀式は含まれておらず、故人様の写真を使用した動画を上映したり、手紙を読み上げるなど、こだわりを詰め込んだ自由な葬儀を執りおこなうことが可能です。また、お布施やご神饌料、献金などの宗教者への礼金や宗教儀式で用いられる備品や設備も不要なため、葬儀料金を抑えることができます。

「お坊さんのいないお葬式」は、新たな葬儀のカたちである想送式を提供することで、ご遺族様やご参列の皆さまが故人様との最後の時間を大切に過ごし、悔いなくおくり出すお手伝いをいたします。

昨今、樹木葬や海洋散骨、音楽葬、一日葬、火葬葬（直葬）など、故人やご遺族の希望に沿った新しい形式のお葬式が増えました。「お坊さんのいないお葬式」が提供するサービスは、宗教儀式を必要としない人々のニーズに合致したものであるはずでした。

そんな「お坊さんのいないお葬式」が、今年5月末でサービスを停止し、ホームページも閉鎖しました。インターネットで直接葬儀会場を紹介するビジネスモデルで、「想送式」とか銘打って目新しさを打ち出していました。が、価格自体もそれほど低いわけでなく、当初から胡散臭いなあとは感じていました。

このような宗教儀式を行わないお葬式が頓挫したことで、お坊さんはやはり必要なだと安堵しましたが、しかし、これほど葬式仏教が批判され忌避もされながら、しぶとく仏教のお葬式が生き残る理由は何なんだろう。これは日本人と宗教の関係性にも論が及びます。

宗教学者岡本亮輔氏の「宗教と日本人」（中公新書）では、そもそも日本の伝統宗教は昔から信仰が主題化しない、現代仏教は「信仰なき実践」であって、その典型が葬式仏教なのだ、逆転の発想ともいえる葬式仏教の近代的創造性を説いています。

近年までお葬式の仏教離れが進むことはありませんでした。「葬式は要らない」と言いつつ、実態は一貫して仏教の寡占状態にあります。それには理由があったのです。簡単に言えば、死者を送る作法として「葬式仏教を利用するのが便利だから」。死者の弔いだけでなく、社会的な告知やご遺族の癒し、親族や知人との感情交流としても実践的な機能を備え、またそれは長い時間をかけて整備され洗練され、人々の欲求に応えられるよう定着してきました。だから「葬式仏教批判は、葬式仏教の存続を前提」としているのであって、いわば「葬式仏教への社会的な信頼」の裏返しである。それに応えるべく「現代仏教に求められているのは、信仰の復活や布教ではなく、葬式の創造的な改良」なのだろうです。

お葬式の場合こそ布教の最大の御縁と考えるお坊さんは多く、私もそう思っています。お葬式をきっかけに間法を始める方が多いからです。

たとえ故人やご遺族に信仰心がなかったとしても、葬式仏教は死者儀礼、あるいは社交やグリーフケアの場として多くの機能を備え、社会的な合意や評価も定着しています。お坊さんは宗教的意義を強調しますが、ご遺族にとっては、もつと総合的な場であり、分かちあいの時間であります。長い時をかけた作り上げられた仏教の儀式作法は、無畏施と法施と財施が上手く融合されて出来上がった、故人にもご遺族にも世間（知人友人・寺院）にも有益な「三方よし」の形式なのです。

葬式仏教で一番に批判されているのは、実はお坊さんの姿勢です。ご遺族に寄り添うこともなく、言葉も作法も疎かなお坊さんは少なくありません。葬式仏教を無畏施（癒し）と考えるご遺族と、法施と考えるお坊さんとの意識のズレは、お坊さんこそが強く認識しておくべきでしょう。お葬式の場における読経も法話も、お坊さんの普段からの姿勢次第で「創造的な改良」につながると思います。また「お坊さんのいないお葬式」なんぞが復活しないよう、私も心してお勤めしていきたいと思えます。